

育成センターだより

鹿児島市山下町6-1 TEL 227-1972

【10月の重点指導事項及び着眼点】

- 1 喫煙・薬物乱用防止
未成年者の喫煙、薬物使用等に対する防止及び啓発活動の推進
○ 麻薬覚せい剤乱用防止(10~11月)
2 深夜はいかい・非行防止
駅周辺、コンビニ、遊技場等、少年の溜まり場の点検及び声かけ(家出、万引き、飲酒ほか)

ピカリと光る個性とよさに寄り添う

子どもたちとの関わり方を考えさせられる講話に出会ったことがあります。「反社会的行為に走る子どもたちは、家族や教師、大人に対して、不信感を抱いていたり、『自分は認められていない』というような感情におおわれているような心理状態であると予想できる。そんな状況の子どもたちに、普通の子どもたちに接するような、社会のルールを押しつけるような接し方で臨むと、心を開いてくれるどころか、恨みを抱かせ、ますます心を閉ざしてしまう。心情や心理状態を具体的に理解するような関わりが大切ではないか」。(奄美市在住の保護司 三浦一広氏の言葉)

この講話を伺いながら、「これまでの指導はどうだつただろう」と、深く考えさせられる時間になりました。子どもの態度や行動が気になり、子どもの置かれている状況や行動の背景・心情に思いを巡らすことができず、怒鳴ったり厳しい言葉で叱責したりしたのではと、恥ずかしながら深く反省させられました。

親や教師、大人が子どもを注意したり、叱ったりするのは、大抵子どものためを思ってのことです。しかし、子どもにしてみれば、注意されたり叱られたりする時、

相手の態度や言葉掛けによっては、頑張ろうと思うよりも、がっかりしたり、中には自分は嫌われているのではと思ったりする子どももいるかもしれません。

このように、注意することや叱ることは、子どもとのコミュニケーションを図る中で最も難しいことだと思います。言い方や伝え方を一つ間違えただけで、子どもとの関係性が崩れ修復不可能になることもあります。

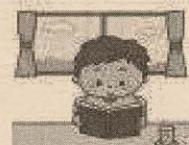
だからこそ、叱る前に「言葉を選び、冷静な態度で接する」ことが大切ではないかと考えます。子どもの心を傷つけるような態度や言葉は厳に慎み、子どもの反応を見ながら、その子の行動を正すような言葉を使っていくことだと思います。そして、最も大切にしたいことは、子ども自身が失敗から学び、新たな意欲をもって生活していくように関わることではないでしょうか。

誰一人として劣等生などいません。ピカリと光る個性とよさを持ち合わせています。その子のピカリと光る(埋もれている)よさ(美点)に気付き(発見し)、自信がもてるように認めほめながら育てる。そうすれば自ずと自分の道を切り拓く子どもに成長すると信じています。

隠れた才能を引きだそう

秋の心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動

強調期間 (10月16日 ~ 11月30日)



本市では、次代の鹿児島市を担う子どもたちを関係機関・団体が一体となって、市民総ぐるみで、心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成することを目的に、四季ごとにテーマを定め、運動を積極的に展開しています。

11月は、国の「子ども・若者育成支援強調月間」であり、県は「郷土に学び・育む青少年運動強調月間」を設定し運動の推進を図っています。

本市では、これらの運動と連動して、「秋の心豊かで元気あふれる『さつまっ子』を育てる運動強調期間」を定め、青少年健全育成の諸事業を意図的に実施し、市民一人一人が、青少年の健全育成について理解を深め、心豊かで元気な「さつまっ子」を育成することを目指しています。

1 テーマ

「育てよう 若い芽を 家庭 学校 地域 職場で」

2 実践重点事項

- (1) 豊かな心を育む家庭の教育力の向上
- (2) 「あいさつ運動」に取り組み、心の教育の推進
- (3) 青少年の主体的な地域活動や団体活動の促進
- (4) 青少年を守りはぐくむ環境づくりの促進
- (5) 関係機関・団体相互の緊密な連携
- (6) 生徒指導・生活指導の充実
- (7) 交通事故防止の推進

1 名称 「令和4年度さつまっ子育成市民大会」

2 趣旨

市内の子どもや学校・PTA・青少年育成団体関係者が一堂に会し、学校や地域での実践活動の成果等をとおして、市民総ぐるみで明日の鹿児島市を担う心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成する機会とする。

3 日時

令和4年10月15日(土) 10:00~11:45

4 会場 川商ホール(市民文化ホール) 第2ホール

5 内容 (1) オープニング(前之浜のチョイのチョイ踊り)

(2) 開会行事

(3) 実践発表1

ア 学校発表(西伊敷小学校)

イ レクリエーションタイム

(4) 市民あいさつ運動推進標語表彰式

(5) 休憩

(6) 実践発表2

ア あいご子ども会発表(宮川校区)

イ 青少年団体等発表(唐湊山の手町内会長)

(7) 閉会行事



【育成センターの声かけ状況】

◇ 8月の声かけ人数 1,048(286) 前年同期 483(146)

◇ 8月の学職別声かけ人数 ()は女子再掲 ▲は減

※ 不健全娯楽(ゲーム場への出入り) ※ その他(怠学、喫煙、夜間の帰宅指導等)

	小学生	中学生	高校生	他学年	有職少年	無職少年	合計
不健全娯楽	205(52)	381(94)	433(134)	2(1)	4(0)	0(0)	1025(281)
その他	3(0)	5(0)	15(5)	0(0)	0(0)	0(0)	23(5)
合計	208(52)	386(94)	448(139)	2(1)	4(0)	0(0)	1048(286)
前年度比	113(32)	231(52)	227(58)	▲8(▲1)	2(▲1)	0(0)	565(140)

◇ 8月の地区別声かけ人数 ()は女子再掲

(声かけの記録から)

地区	人 数	割 合
中央駅	491(137)	46.9%
天文館	62(37)	5.9%
谷山	387(92)	36.9%
上町	14(0)	1.3%
鴨池	93(19)	8.9%
伊敷	1(1)	0.1%
その他	0(0)	0.0%
合計	1048(286)	100.0%

- ◇ ゲームをしている私服男子2人組の後方にいた私服女子2人組は、〇〇高校の1年生で、「以前知り合った男子と遊びに来た。男子の学校名は知りません」と話した。私服男子は、市外(大隅半島)の高校1年生だった。お金を大事に遣うことや、事件・事故に遭わないように気を付けて行動するように伝え、早めの帰宅を促した。
- ◇ ゲームをしている2人連れの女子中学生に声を掛けた。2人は、2年生であることは話したが、学校名については「教えないことになっています」と強く拒否したので、無駄遣い防止やコロナ対策、勉強等を頑張るように助言したが、2人とも黙って離れて行った。

【市内三署の補導状況】

★ 期間 令和4年1月～8月(各署の人数は、1月からの累計で表示)

◇ 不良行為別少年補導人数

()は女子再掲 ▲は減

行 为	飲 酒	喫 煙	粗 暴 行 为	暴 走 行 为	家 出	深 夜 は い かい	怠 学	不 良 交 友	その 他	合 计	前 年 同 期 比
中央署	34(20)	27(3)	1(0)	0(0)	7(3)	30(12)	1(0)	1(1)	3(2)	104(41)	▲11(14)
西 署	12(5)	33(3)	0(0)	0(0)	2(1)	24(5)	1(1)	0(0)	3(2)	75(17)	28(13)
南 署	13(2)	22(3)	2(2)	0(0)	0(0)	44(13)	3(3)	0(0)	3(2)	87(25)	16(15)
人數合計	59(27)	82(9)	3(2)	0(0)	9(4)	98(30)	5(4)	1(1)	9(6)	266(83)	33(42)
割 合	22.2%	30.8%	1.1%	0.0%	3.4%	36.8%	1.9%	0.4%	3.4%	100.0%	
当月発生計	15(4)	6(2)	0(0)	0(0)	3(1)	26(12)	0(0)	1(1)	1(0)	52(20)	※当月発生件数

◇ 犯罪(含触法)少年補導人数

()は女子再掲 ▲は減

学 職	小 学 生	中 学 生	高 校 生	他 学 生	有 職 少 年	無 職 少 年	合 计	前 年 同 期 比	行 方 不 明 届 受 理 少 年 数
中央署	0(0)	2(1)	3(0)	0(0)	4(0)	0(0)	9(1)	▲ 8(▲3)	18(11)
西 署	6(1)	4(0)	6(1)	0(0)	2(0)	0(0)	18(2)	▲ 2(▲2)	21(6)
南 署	10(1)	6(3)	3(1)	1(0)	6(1)	2(0)	28(6)	▲ 8(▲3)	25(11)
人數合計	16(2)	12(4)	12(2)	1(0)	12(1)	2(0)	55(9)	▲ 18(▲8)	64(28)
割 合	29.1%	21.8%	21.8%	1.8%	21.8%	3.6%	100.0%		
当月発生計	3(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(0)	※ 当月の発生件数	

◇ 少年サポートセンター

- 8月に市内児童クラブ1か所で防犯教室を実施した。9月は、大学生向けの薬物乱用防止教室を実施予定である。10月には、市内中学校で非行防止教室、他市・町で薬物乱用防止を実施予定である。
- 居場所づくり活動は、8月に、大学生ボランティアによる学習支援活動を2回実施した。大学生ボランティアの協力を得て、9月にバドミントン大会、10月にサツマイモ収穫体験活動を行う予定である。
- サイバーパトロール活動は継続中であるが、相変わらず不適切な書き込み等が見られ、注意喚起メッセージの送信を行っている。
- 補導職員による午前と午後の中央駅付近の巡回では、今のところ特に気になるような事案はない。